



美方の進路

～くみたての水美しきすすはらい 日野草城～

自らをふり返ることは簡単なことではありません。しかし、タイミングさえ逃さなければ深く見つめ直すことができます。師走のこの時期、この一年、力を入れて取り組んできたこと、どうかなあと頭を抱えてきたこと、上手くいったこと、そうでなかったこと・・・それぞれについてじっくりとふり返ってみてください。きっと新たな活力が、ものの見方が得られることでしょう。

「他人とは違う視点で自身を見つめなさい。他人が見つけれないものがあるから」(カマラ・ハリス)

2020・7・18
朝日・社説

「感想戦は敗者のためである」だと答えた。「感想戦という行為自体が他の(世界)では珍しいと思う。感想戦の意義をよく表した言葉かな」

別の場面で将棋の神様への願い事を尋ねられた際には、「お

身は感想戦を拒否して帰ってしまっただけだ」と答えた。そして「またたく間に自己をコントロールできていなかった」と反省する。負けたり失敗したりした時、人はしばしば、ただ落ち込む。あるいは、ごまかす、言い訳を考える、忘れようとする。逆にうまくいった時には、都合のいいことだけを記憶に残して、途中の過ちにはふたをする。

「感想戦は敗者のためである」とかつて好きな言葉を聞かれて「感想戦は敗者のためである」だと答えた。「感想戦という行為自体が他の(世界)では珍しいと思う。感想戦の意義をよく表した言葉かな」

日本将棋連盟会長でもある佐藤康光九段は、感想戦での検討について「思ひもよらない妙手が出てくると、震えるほど感動することもある」と著書に記している。敗れて腹が立ち、自

客観的に自分を見つめ直すのはなかなか難しいが、その機会を与えてくれるのが感想戦といえるだろう。

将棋の藤井聡太七段が棋聖戦を制し、史上最年少の17歳11カ月でタイトルを手にした。プロ入りも最年少の14歳2カ月で、デビュー戦から29連勝するなど数々の記録を塗り替えてきた。新聞を愛読し、「備前」「望外」といった言葉を使いこなす高校生棋士が、若者らしさを一番感じさせるのは負けの時だ。投了後に両者が一緒に対局をふり返って、勝因、敗因などを分析する「感想戦」では、何度もため息をつき、うなだれる。

それだけの場面で自分が何を考えたのかを語り合い、より良い一手があったのかを共同作業で探究する。人工知能(AI)でもすべてを解明することはできないといわれる将棋の奥深さと、そこに「一歩でも近づこう」という熱意、悔しい負けを喫したばかりの渡辺棋聖が、ていねいな言葉づかいで19歳下の藤井新棋聖に意見を請うシーンには、胸を打つものがあった。

感想戦に時間の制限はない。敗者が納得するまで続けるのが常だ。藤井新棋聖も敗戦の経験を経験を重ね、そこで得たものを次に活かしてきた。

藤井新棋聖

「感想戦」に学びたい

今年、大活躍した高校生棋士、藤井聡太七段に関する記事が朝日新聞に掲載されていましたので紹介します。

将棋では勝敗が決まった後に、初手から打ち直す「感想戦」があります。それぞれの一手に何を考えたのかを互いに語り合うことで、将棋の本質に迫る、そこには勝ち負けを超えた世界がある。

勝負の世界に勝ち負けはつきものです。結果が決まるその時期はひととき余韻に浸ります。しかし、大切なのは、そこから何が学べたのか、なのかもしれません。

人生は長いのです。

「星のかわりに 夜ごと、ことばに灯がともる

人生ほど、生きる疲れを癒してくれるものは、ない。」

(ウンベルト・サバ 須賀敦子訳)

～ 合格体験記 ～

【福井県立大看護 合格】私は文章を書くのが苦手で、最初は全く書けませんでした。先生に添削してもらい、直すべきところを教えてもらい、何回も書き直しました。書いていくうちに、自分の考えや、知識が増えていき、書きやすくなりました。小論文はなるべく毎日書いて文章力や読解力を高め、自信を持って受けられると良いと思います。福井県立大学の看護学科の面接では、詩やグラフ、イラストなどをその場で渡され、質問されることがあります。どんな問題がきても臨機応変に答えられるように、練習して慣れておくことが必要です。

【敦賀市立看護大 合格】

医療、看護体験に積極的に参加してきました。看護師の方からのお話はとても勉強になることばかりで、実際に体験するのもとてもいい経験になりました。1、2年生のうちから、体験できるものは是非参加してください。

【敦賀美方消防 合格】

普段から少しでも学習しておくことで、集中するという勉強の癖がつく。私は勉強は苦手だったので、平日は5時間以上、休日は10時間以上の学習に取り組みました。

1, 2年 英語特別講座 竹内朋恵先生



英語がとても聞きやすくて楽しかった。

単語の覚え方や長文の読み方など知ることができて良かった。今までやったことのないような問題もあり、モチベーションがあがった。

長文問題では、段落ごとに区切ると読みやすく気持ちも楽になることを学べた。

長文がスラスラ読めてうれしかった。

私たちの視点で話してくれるので共感できてホッとした。単語も何を軸として覚えていくとよいかなどためになった。

改めて英語の楽しさや大切さを理解することができた。英語が話せるとどんなに良い経験が出来るのかを知れて、学習へのモチベーションにつながった。

長文読解で、どこに注目して解答すべきかが解説されていてとてもわかりやすかった。



「音の変化」「消える語尾」「つながる音」の3点を大事にしっかり覚えていこう。

12/9 ビジネススキルアップセミナー（3年就職内定者対象）



ふくいジョブステーション・キャリアアドバイザー前田裕子氏（本校卒業生）をお招きし、研修会が行われました。「〇〇製菓」「〇〇商会」の社長、部長、新入社員の役割をそれぞれが演じることで実践的なコミュニケーション能力を学びました。

- ・「報告」では、うまくいっていないことこそ早い段階で伝えることが大切。
- ・わかりやすく伝えるには、「見出し」をつけるなど、話の全体像を先に示すと良い。
- ・聞き上手になるコツ…あいづちを打つ、時には簡潔に質問し確認していく。笑顔で。
- ・「マナー」とは相手の立場に立つこと。他者への思いやりが仕事の流れをスムーズに運ぶ。